

中間貯蔵施設と東京電力福島第一原子力発電所 廃炉資料館の連携見学 ～環境省×経産省～

福島復興に向けて、福島第一原発の廃炉や中間貯蔵施設の状況を国内外の多くの方々に知っていただくことが重要であることから、より多くの方に両施設をご覧いただく機会を設けます。

A) 中間貯蔵施設軸パッケージ

➤ 廃炉資料館の見学後→中間貯蔵施設の見学

東京電力の社員が中間貯蔵施設内の福島第一原発を遠望できる高台において、福島第一原発の現状について説明する



※ 実施曜日：火曜日、木曜日

行き先	所要時間	内容
東京電力廃炉資料館	30分～60分	・震災・原子力災害の全容説明 ・廃炉の現状・ALPS処理水の説明
(移動)	20分	
中間貯蔵工事情報センター	20分	・ 中間貯蔵施設の概要説明 ・ 見学手続き
中間貯蔵施設視察	60分	・ 土壌貯蔵施設を中心に見学 ・ サンライトおおくまからの展望と福島第一原発についての説明
(終了)	計130～160分	

B) 連続視察パッケージ

➤ 福島第一原発見学後→中間貯蔵施設の見学

※ 実施可能曜日：火～土

行き先	所要時間	内容
東京電力廃炉資料館	40分	・ 震災・原子力災害の全容説明 ・ 廃炉の現状、ALPS処理水の説明 ・ 見学手続き（入域）
（移動）	20分	
福島第一原発	80分	・ 構内視察 ・ 見学手続き（退域）
（移動）	20分	
中間貯蔵工事情報センター	10分	・ 中間貯蔵施設の概要説明
中間貯蔵施設	60分	・ 土壌貯蔵施設等を視察 ・ サンライトおおくまからの展望と福島第一原発についての説明
（終了）	230分	